

賃貸DIYはさじ加減が難しい。ボロ部屋を自由にとわれても水回りからは気が萎える。壁一面だけではDIY欲を掻き立てない。本件は水回り改修と内装下地までをオーナーが整え、内装仕上げを入居者にゆだねた。DIY賃貸の普及にジャストフィットな好例。

優秀賞

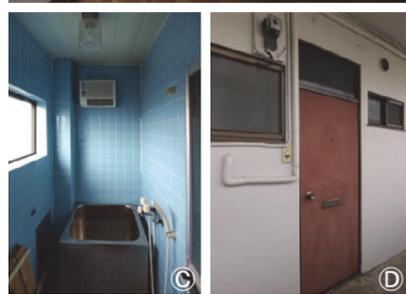
設計会社 (有)アーバン・クラスター

施工会社 (有)アーバン・クラスター

構造 鉄骨造

リフォーム前後の写真

改修前



② 原状復帰も可能なパーケットフローリングを市松柄に置き並べた

③ 端材+荒塗装でシャビースタイルな壁に



④ 漆喰×花柄壁紙×ブリックでラスティックな壁とした

⑤ ミントブルーの黒板塗料で楽しくコミュニケーション

⑥ 端材を利用し玄関扉を装飾

① 壁は地元産の漆喰+オーク挽板でヘリンボーンのパターン張りとし、床には15mmの足場板フローリングを敷き詰めた

リフォームの動機/設計・施工の工夫点/施主の感想・満足度/住宅の価値を向上させた内容など

この部屋は、コスト重視の「修繕型」賃貸ルームであった部屋を、30代夫婦の入居予定者本人が、入居前から知人らと共にDIYでセルフリノベーションした賃貸ルームである。水廻りのインフラと内装下地まではオーナー側で整え、それ以外は全て、入居者が自ら材料を調達し、DIYでリノベートしている。

材料はホームセンターやオンラインで入手可能な材料で揃えた。原状復帰の義務はないものの、将来的な模様替えも想定し、

床には置敷き型の無垢材パーケットフローリングを採用している。壁の大部分は漆喰で仕上げ、室内の調湿と空気環境も整えた。漆喰には、地元で採掘された石灰石を焼成・消化した消石灰を使用し、ローコストなDIYで地産地消も実現できている。このオーナーインフィル×セルフカスタマイズのDIY型の賃貸は、カスタマイズの裁量によって、短期滞在型や民泊等への応用も可能であり、双方向型の賃貸モデルとして、全国に広がる空き家や空室化対策に活用できると考えている。

性能向上の特性
室内空気環境、耐久性能

特に配慮した事項
・DIYで一般の人でも出来る施工方法
・賃貸として使いやすい材料(コスト、入手ルート含め)及び仕上げ

データ

所在地	栃木県佐野市	築後年数	35年	施工期間	60日間
該当工事床面積	34.02㎡ / 総工事床面積 34.02㎡	該当部分工事費	35万円 / 総工事費 90万円		
居住者構成	65歳以上:0人、15~64歳:2人、15歳未満:0人、ペット:				

リフォーム前の平面図



リフォーム後の平面図



ファミリータイプの部屋ではない為、あえて浴室をユニットシャワーへ替え、その代わりにトイレを広く、パウダールームとしても使えるようにしている。

リフォーム部位: ■居室/ ■台所/ □浴室/ ■便所/ ■洗面所/ □廊下/ □階段/ ■玄関/ □クローゼット/ □マッシュン共用部分